

# ディスクドッチ愛知県大会 2017



## <大会報告書>

2017 年 12 月 12 日



日本ドッチビー協会

## 【大会概要】

名称 ディスクドッジ愛知県大会 2017

日時 平成 29 年 11 月 26 日（日） 9:00～17:00

場所 名古屋市 北スポーツセンター

主催 愛知県フライングディスク協会

共催 一般社団法人 日本ドッジビー協会

後援 愛知県教育委員会 名古屋市教育委員会

（公財）愛知県教育・スポーツ振興財団

（公財）名古屋市教育スポーツ協会

一般社団法人 日本フライングディスク協会

協賛 文化シャッター株式会社

株式会社クラブジュニア

ワタミ株式会社

## 【お問い合わせ先】

日本ドッジビー協会事務局

住所：〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-46-302

T e l : 03-3264-3626

F a x : 03-3264-3627

m a i l : [support@dbja.jp](mailto:support@dbja.jp)

担当：稲垣 敬雄

## 【参加チーム一覧】

### <低学年の部（1～3年生）>

6チーム・71名

- ① AXTOS PHOENIX Kids./大府市/13名
- ② C.A.T 多治見 アフロ/多治見市/8名
- ③ Fire Jr.4/稲沢市/14名
- ④ FireJr.3/稲沢市/13名
- ⑤ 苗代 Smile/名古屋市/13名
- ⑥ GDT B/犬山市/10名

### <高学年の部（4～6年生）>

15チーム・210名

- ① AXTOS PHOENIX Jr./大府市/13名
- ② 風神 Jr./東海市/10名
- ③ C.A.T 多治見 wifi/多治見市/16名
- ④ キング塩タン/名古屋市/15名
- ⑤ ドラゴンファイターズ/瀬戸市/12名
- ⑥ Fire Jr.1/稲沢市/15名
- ⑦ JDC 小猿/知多市/15名
- ⑧ GDT A/犬山市/15名
- ⑨ 新知ファンタグレープ/知多市/15名
- ⑩ 苗代 Victory/名古屋市/13名
- ⑪ MIYAJI' s crew(仮)/一宮市/18名
- ⑫ Fire Jr.2/稲沢市/15名
- ⑬ JDC 大猿/知多市/13名
- ⑭ 大乱闘中/東京都/13名

### <一般レディースの部>

3チーム・37名

- ① C.A.T 多治見/多治見市/9名
- ② Ms.Fire/稲沢市/13名
- ③ JDC レディース/知多市/15名

### <一般オープンの部>

14チーム/153名

- ① Team ASO/名古屋市/10名
- ② 風神/東海市/7名
- ③ C.A.T 多治見 KZE/多治見市/15名
- ④ Team Boon/知多市/10名
- ⑤ GreenEast/名古屋市/12名
- ⑥ 守東 Sky/名古屋市/10名
- ⑦ 新知ファンタジスタ α/知多市/10名
- ⑧ 守東 Ocean/名古屋市/10名
- ⑨ SHINBA (シンバ) /大府市/12名
- ⑩ O.GDT/犬山市/12名
- ⑪ 守東 Air/名古屋市/10名
- ⑫ JDC/知多市/15名
- ⑬ SBE Fire/稲沢市/10名
- ⑭ FKC/扶桑町/10名

## 【大会参加者数 一覧】

●参加選手総数 472名

●大会関係者総数 23名

●観戦・引率保護者数 約200名

◆大会関与者総数 495名

大会関係来場者数 約700名

## 【大会最終順位】

### 『小学生 低学年の部』

優勝	Fire Jr.3
準優勝	苗代 Smile
第三位	C. A. T 多治見アフロ

### 『小学生 高学年の部』

優勝	大乱闘中
準優勝	キング塩タン
第三位	Fire Jr.2

### 『一般レディースの部』

優勝	Ms. Fire
準優勝	JDC レディース
第三位	C. A. T 多治見

### 『一般オープンの部』

優勝	守東 Air
準優勝	FKC
第三位	TeamASO

## 【大会ルール】

### ・競技ルール:

日本ドッジビー協会公式ルールで実施。一部大会ルールを採用。

### ・使用ディスク:

日本ドッジビー協会公式ディスク「ドッジビー270 ミカサモデル」を使用。

- 1) 試合の人数は小学生低学年の部・高学年の部=13名、一般レディース・オープンの部=10名
- 2) 試合時間はすべて前/後半 各=2分30秒
- 3) 同点の場合=リーグ戦は引分け、トーナメント戦は2分間の延長戦で勝敗が決するまで行う

## 【競技方法】

- 1) 小学生低学年(1~3年生)の部  
総当たりの決勝リーグ戦にて順位決定(引分けあり)。
- 2) 小学生高学年(4~6年生)の部  
予選3チーム×3リーグにて予選リーグ戦(引分けあり)。  
順位決定 各予選リーグの上位2チームが決勝トーナメントへ。
- 3) 一般レディースの部  
総当たりの決勝リーグ戦にて順位決定(引分けあり)。
- 4) 一般オープンの部  
予選3チーム×4リーグにて予選リーグ戦(引分けあり)。  
順位決定 各予選リーグの上位2チームが決勝トーナメントへ。リーグ1の3位、リーグ2の3位は親睦ゲームへ。

## 【競技スケジュール】 大会スケジュールは別紙参照

## 【参加賞】

### 協賛社様ご提供の参加賞

- ① 文化シャッター株式会社 マウスパッド
- ② ワタミ株式会社 系列全店使用可能 500円お食事券



## 【講評】

11月26日日曜日、冬目前にも関わらず気持ちの良い陽気と快晴の中、38チーム、約500名の選手、観戦保護者ならびにスタッフその他関係者なども含めた総合計で約700名が集い『ディスクドッジ愛知県大会2017』が開催されました。



会場となった名古屋北スポーツセンターは、体育館、弓道場、屋内プールが完備された総合スポーツ施設で、本大会が行われた第1競技場は1000席を超える観客席を有し競技者だけでなく観戦者にとっても来場しやすい施設として、恵まれた環境下で本大会を開催することができました。

開会式での主催者挨拶として、近年非常にレベルの上がっている愛知県地域において、さらに高い技術とチームプレーに対する期待、また新しいレベルを目指す中での無理なプレーによる怪我等には十分に気を付けていただきたいという旨をお話しさせていただきました。開会式の最後は全員での集合写真の撮影を行い終了。



本大会では、表彰副賞として愛知県内大会としては初めて文化シャッター株式会社様のご協賛でドッジビーロゴ・オリジナルメダル／ガラス盾／トロフィーを製作し贈呈させていただきました。大会中も本部前に飾られたトロフィーとメダルに「欲しい!」という声を多数いただきました。今後も全国の各大会にて登場いたしますので楽しみに。副賞賞品では、ワタミ株式会社様より1000円分のお食事券、株式会社クラブジュニア様より様々なドッジビーグッズをご協賛いただき、こちらも選手の皆さまに大変喜んでいただけました。





小学生低学年の部では、Fire Jr. 3 が圧巻の全勝優勝を成し遂げました。しかし、部門全体的に好ゲームが多く、特にスローイングの技術の高さが伺えました。ディフェンス面で、背中を向けて逃げてしまう子が多いため、積極的にキャッチをしにいく姿勢が今後のレベルアップの鍵となるでしょう。



低学年の部優勝・Fire Jr.3

小学生高学年の部では、東京から参戦の大乱闘中が見事な優勝。フォアハンド全盛になりつつある現在の状況において、キレのあるスピンと出所が見づらいバックハンドスローが大きな武器になりました。また、ディフェンス面でもチーム全体で守る意識が強くよく鍛えられているという印象でした。



高学年の部優勝・大乱闘中



一般部門レディースの部では、午前の親睦リーグを経てこちらも完勝で Ms.Fire が優勝。着実にパスをまわしながら正確に当てていく技術の高さも見受けられました。また、部門を通して、3 チームそれぞれが少ない人数ながらも楽しそうにプレーをされているのが印象的でした。



一般レディースの部優勝・Ms Fire

一般オープンの部では、全体のレベルが非常に高く好ゲーム、熱戦の連続となりました。そんな高レベルの部門を制したのは、決勝で見事な逆転勝ちをおさめた守東 Air。わずか2人差の勝利で、前半後半で流れが変わり、見ているだけでも非常に見ごたえのある戦いでした。



一般オープンの部優勝・守東 Air

大会全体を通じた反省として、本大会では第1競技場内に3コートを設置しました。各コートの間に仕切りがなく別コートのディスクが度々他のコートへ入り、試合の流れを一度切らざるを得ない場面がありました。また仕切りがないためディスクを拾いに行く選手と隣のコートの選手の衝突の危険性が生まれました。コート前後は防球ネットで仕切りを設けましたが、「防球ネットを超えても5秒以内に拾いスローを行えばファール扱いとしない」というローカルルールを設定したため、走り跳び越える選手が多く出て怪我等の危険性が見受けられました。今後も、公式ルールだけでは統制しきれない各施設のローカルルールの在り方を検討し、選手の皆さまにとって安全かつプレーしやすい環境を模索し続けたいと思います。



ゲーム進行では、各コートがそれぞれのタイム管理にて進めていく形をとりましたが、選手の皆さまがしっかりスケジュールを把握・行動していただいたおかげで、大きなスケジュールのずれや遅れなどはなく終えることができました、ありがとうございました。

本大会に出場いただいた選手の皆さんのレベルは非常に高く、どの試合も好ゲーム続きとなりました。また、特に小学生部門に出場した選手の相手や審判への礼儀、試合マナーが良く、気持ちの良い大会の雰囲気づくりにおいて、とても大切な要素となったことも付け加えさせていただきます。ただ、ジャッジの観点から、昨年7月に施行された新公式ルールの中で、フォアハンドスローの角度に関するバッドスロージャッジの対象となりうる際どいスローがいくつか散見されました。是非、この機会にスローの角度やディスクの握り方等について今一度各チームでご確認をいただければと思います。

本大会運営において審判員としてのご助力、また線審を各チームの皆さまにご協力いただき、最後まで大きなトラブルなく終えることができましたことを関係者の皆様に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。